

アキナイは、 アイデアだ。

グローバルとは、語学の上達だけじゃない。

ヒントは、ローカルにある。

小樽らしい、コンビニスイーツの開発。

中国語、韓国語など、観光案内の多言語化。

朝ドラで熱い余市での、コンテンツツーリズム企画。

ソーシャルメディアと「小樽雪あかりの路」との連動企画。

市立病院のデジタルサイネージ改良計画。

これらはすべて、小樽商科大学の学生たちの取り組みだ。

観光と地域という視点で、商いを捉えてみよう。

小樽やニセコ、後志、北海道のブランドを磨くことが不可欠だ。

ブランドとはつまり、その「土地らしさ」のこと。

ローカルにしかない魅力が、世界の人を引きつける。

学生時代の地域での「実学」が、世界での仕事に結びつく。

異文化コミュニケーションの、発想の原点になる。

商いに、国境はない。

商いは、クリエイティブでおもしろい。



軸足は地域に。
視点は世界に。

商大は グローバル 大学。



グローカルマネジメント 副専攻プログラム

道内国立大唯一の文部科学省「地(知)の拠点整備事業」の採択を受け、小樽商科大学「No.1グローカル大学」を宣言。小樽・札幌・ニセコ・俱知安を総合観光地域として創出し、地域活性化をめざします。また来期からは「グローカルマネジメント副専攻プログラム」が始動。伝統の語学教育、産官学のビジネス教育で地域に根ざしたグローバルリーダーを育成します。

学長 和田 健夫

グローカルマネジメント副専攻プログラムの募集を開始。新たなグローカル教育に関心のあるみなさまをお待ちしています。

小樽商科大学は2013年、「No.1グローカル大学宣言」を公表し、北海道における教育研究の拠点を目指すことを明らかにしました。その中心はグローバルな視野のもとでローカル(北海道)の視点から考え行動できる人材の育成。2015年からは「グローカルマネジメント副専攻プログラム」をスタートさせます。伝統の実学教育を全学に張り巡らせ、学生は地域社会の人々との交流を通じて、物事に取り組む意欲やマネジメントの手法を学びます。さらに百年以上の歴史をもつ語学教育が世界に発信する能力を養い、グローバル時代における「個」の力、リーダーになる素質を育てます。

明日起動。本学の前期日程個別学力試験(二次試験)

有機的な学びを実現する。

「アクティブラーニング」や「ブレンデッド・ラーニング」の考え方を取り入れる小樽商科大学。オンライン授業で学生と教員の双方向のつながりをより深く。タブレット、SNSや動画などのICTをグループワークやプレゼンにも積極的に活用。デジタルに精通した社会人をめざします。今年度は図書館もリニューアル。最新設備と快適性を実現しました。内容の濃い「実学」で経験を積んでください。



No.1 グローカル宣言

就任して10ヶ月
新・学長メッセージ



国立大学法人

小樽商科大学